

2024(令和6)年度 区民団体活動助成 申請団体一覧

団体名	助成事業	事業内容	助成額	ありがとうメッセージ
中野区保護司会	社会を明るくする運動各地区推進委員会行事	区内10地区において各地区が講師を依頼し、講演会を行った。また、中学生による演奏会も行った。講演会や演奏会を通じて「社会を明るくする運動」を推進する意義を訴えた。	200,000	講演会では、各地区PTA、町会などの区民の方々と話し合いの輪が広がり「社会を明るくする運動」の意義を学びました。演奏会では中学生が中心となり、子どもたち自らが「社会を明るくする運動」について考えるきっかけとなりました。また地区まつりに参加した地区では“社明”運動について啓発することができました。ご協力いただきありがとうございました。
	ひまわりコンサート	昨年の東亜学園高等学校のホールから大妻中野中学校・高等学校ホールへと場所を移して開催。区立第五中学校の生徒たちの司会によりコンサートは進行、第五中学校吹奏楽部の演奏、白桜小や令和小の児童の演奏ほか、地域で活動する様々な団体の演奏、大妻中野中学校・高等学校生徒有志による「社会を明るくする運動と更生保護活動について」の解説など、盛りだくさんの内容だった。	100,000	ステージへの出演団体はもちろんのこと、裏方であるすたっふまで、第五中学校のボランティア部をはじめとして小学校PTA、中学校PTA、町会、子ども会など、地域で活動する方々が集結し、880人という大規模での「社会を明るくする運動」を実現することができました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。
	「ひまわりなかの」発行	中野区での社会を明るくする運動についてわかりやすく紹介するパンフレットの作成。	100,000	皆さまのご協力のおかげで区内小中学校、関係団体、地域に配布することができ、「社会を明るくする運動」がより身近なものになり、周知することができました。
	社会を明るくする運動の街頭などでのPR	7月は“社明”強調月間であり、7/1中野駅前広場でオープニングセレモニーを行い、区民へのPRのため街頭啓発キャンペーンを行った。7/1～7/16の16日間、中野駅ガード下夢通りギャラリーにて“社明”啓発展示を行った。	100,000	中野駅前広場にて“社明”啓発グッズを配布することにより「社会を明るくする運動」の意義を理解してもらい、“社明”活動に関心を持ってもらうことが出来ました。夢通りギャラリーでの展示は、「ひまわりなかの」の拡大版で、社会を明るくする運動の歴史、中野区保護司会の活動などを紹介するものとして、大輪のひまわりを使ったデザインで、道行く人の目を引き、効果的なPRとなりました。ご協力いただきありがとうございました。
中野区友愛クラブ連合会	芸能大会(功労者表彰式典)	① 功労表彰／1クラブ 3会長を表彰 退任役員2名感謝状授与 ② 27クラブの演芸発表(プログラム参照) ③ お楽しみ抽選会 ④ 参加者全員で「未来カレンダー」合唱	200,000	・クラブ数の減少に伴い、出演クラブの減少が見られるが、コーラス、民謡、舞踏他、日ごろのクラブ活動の目標の場として意義深いイベントであり中友連の主力事業の一つとして定着しています。 ・芸能発表の後、お楽しみ抽選会を実施することで、最後まで出演者と応援者が一体となって賑わいました。 皆さまのご協力のおかげで、開催することができました。ありがとうございました。
	シニア大学	1回目:支えあいフォーラム 「愛が行き交う住みよいまちに！人生100愛時代！高齢者が安心して住める中野のまちへ～高齢者は守られている・地域包括ケアシステムはここまで進んでいる～」 地域支え合い推進部長・石井大輔氏 2回目:健康講座 part1 「おなか健康講座」 東京ヤクルト販売(株) 広報室広報グループ 3回目:健康講座 part2 「自分事として認知症を正しく理解する」 東京医学総合研究所社会健康医学研究所長・西田淳志先生 4回目:健康講座 part3 「すこやかいきいき生活のコツ」 南部すこやか福祉センタースペシャルプロジェクト 5回目:音楽の世界へのいざない～武蔵野音楽大学生による秋のコンサート～	100,000	・会員増員キャンペーンに因んで町会連合会の協力のもと一般区民の参加を促進。結果5回述べ422名(全参加者の19%)の参加が得られ、今後入会促進への手ごたえを得ることができました。 ・人生100年時代に向き合って健康寿命を伸ばすことが重要課題との視点に立ち、5回中3回を健康に関する講座を取り入れました。 ご協力いただいた皆さまありがとうございました。
	“増やそう仲間を！！”キャンペーンを主軸とする広報活動の活性化	<パネル展／活動紹介ポスター> 9月26日、27日の間、区役所ナカニフにて実施。 <パネル展／地区連実施> 区民活動センター(地区まつりの利用)単位に、より身近に中友連の活動をPRするとともに地域や単位クラブの魅力を伝えるため、令和6年度は南中野、東中野、東部、桃園・鍋横、沼袋、大和の5地区で実施した。 <会員入会促進用リーフレットの作成> 入会促進リーフレットを作成。町会・自治会の回覧ルートにてPRするとともに区民活動センター、高齢者会館に置かせていただく。	100,000	・パネル展については、区民活動センターにおける地区まつり開催時に行い、友愛クラブの知名度を上げたこと、活動内容を理解していただけたこと、入会に繋げられたことなど効果を実感できました。 ・リーフレットについては、町会・自治会の回覧あるいは区施設の常設により大勢の区民の目に触れており、今後継続を含めて効果を期待しております。 ご協力ありがとうございました。
	地域支えあい活動の実践と定着	・地域活動支援事業については、2018年に連合会の重要課題としてモデル的に実施。その効果を確認とともに2019年より本格稼働に踏み切り、コロナ禍を挟んで2023年に組織部の改変とともに一層の強化を図った。 ・地区連における事業は、交通手段を使わないことなど参加者の利便性は極めて高く、令和5年度は8地区10事業、455名の参加だったが、令和6年度は10地区18事業で、参加者も863名と大幅に伸ばすことができた。	100,000	・前述のコメントの通り、前年の10事業に対し、18事業、参加者は前年455名から863名で190％と大幅に増加しました。 ・単位クラブ及び中友連は助成金の適用を受け活動資金がある反面、地区連合会は助成金の適用がないため、各クラブから会費を集めるなど地域の任意となっています。従って、連合会からの活動資金、1地域上限30,000円の助成は大変効果的であり、各地域から評価をいただいています。 皆さまご協力いただきありがとうございました。